

作成日：2008年3月25日

更新日：2022年6月28日

Ver. 3.1

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称： **ボンフラン**

供給者の会社名称、住所及び電話番号

会社名： **株式会社アグリマート**

住所： **〒104-0031 東京都中央区京橋 3-12-2 京橋第2有楽ビル**

TEL. 03-5159-1711, FAX. 03-5159-1712

e-mail: agm-info@agrimart.co.jp

推奨用途及び使用上の制限：不快害虫用殺虫剤

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

GHS分類基準に該当しない

健康有害性

GHS分類基準に該当しない

環境有害性

水生環境有害性 長期(慢性)

区分2

上記で記載がない危険有害性は、「区分に該当しない」か「分類できない」。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語

なし

危険有害性情報

長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き

【安全対策】

- 環境への放出を避けること。

【応急措置】

- 漏出物を回収すること。

【保管】

【廃棄】

- 内容物、容器を法、条例等に従って安全に処理する。または都道府県知事等の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

他の危険有害性：特になし。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分：混合物

成分及び含有量：

成分

含有量(w/v)

CAS No.

安衛法 No.

化審法 No.

(RS) - 1 - メチル - 2 - ニトロ - 3 - (テトラヒドロ - 3 - フリルメチル) グアニジ

ン (一般名 ジノテフラン)

	1.2%	165252-70-0	8-(1)-3951	—
界面活性剤、水等	残	—	—	—

4. 応急措置

- 吸入した場合： 新鮮な空気のある場所に移動させ、呼吸しやすい姿勢で休憩させる。気分が悪い時は、医師に連絡する。
- 皮膚に付着した場合： 汚染した着衣、靴等を速やかに脱ぎ、付着部を多量の水と石けんでよく洗浄する。異常が現れた場合には、医師の診断を受ける。
- 眼に入った場合： 直ちに清浄な流水で数分間洗浄する。眼球、まぶたの隅々まで水がよく行きわたるように洗う。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続ける。異常が現れた場合には、医師の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合： 水でよく口の中を洗浄し、コップ1~2杯の水を与える。意識がないときには口から何も与えてはならない。異常が現れた場合には、医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

- 消火時の注意： 消火活動には適切な保護具(自給式空気呼吸器等)を着用し、風上から作業する。燃焼又は高温により有害なガスが発生するおそれがあるので、発生するガス、煙を吸い込まないように注意する。消火水が下水や河川等の水系に流れ込まないように適切な処置をとる。

- 適切な消火剤： 散水、噴霧水、泡
使ってはならない消火剤： アルカリ金属を含む粉末消火剤は使用すべきではない。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：
付近の人を風上に避難させ、漏出現場への立ち入りを禁止する。適切な保護具(保護衣、保護眼鏡、保護マスク等)を着用して、眼や皮膚に触れたり、液体に溶解し発生したガスを吸い込んだりしないようにする。
- 環境に対する注意事項：
漏出物や洗浄水等が河川、下水等水系に流出し、環境への影響を与えないように措置する。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材：
漏出物を密封できる容器に回収する。なお、漏出物が水等に溶解した場合は土、砂、オガクズ等に吸収させて密封できる容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い： 適切な保護具を着用し、眼、皮膚に触れたりしないようにする。作業後は、すみやかに眼、手、顔を洗い、うがいをする。
- 保管： 容器を密封し換気の良い冷暗所に保管する。食物、飼料等と離し、無関係者、子供の手の届かない所に施錠して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

- 設備対策： 局所排気装置を設ける。取扱い作業場の近くに洗眼、洗面、うがい、安全シャワー設備を設置する。
- 保護具： 状況に応じた適切な保護具を着用する。
保護マスク、保護眼鏡、保護衣(長袖・長ズボン)、ゴム手袋
作業時に使用していた衣類等は他のものと分けて洗濯する。

(反復ばく露) : 知見なし
 誤えん有害性 : 知見なし

<結晶セルロース>

急性毒性 : 経口 LD₅₀ >5,000mg/kg ラット
 経皮 LD₅₀ >2,000mg/kg ウサギ
 吸入 LC₅₀ 6mg/L/4hr
 皮膚腐食性/刺激性 : 過敏症の人を除いて皮膚刺激性を示すことはほとんど無い。
 眼に対する重篤な損傷・刺激性 : 知見なし
 呼吸器感作性又は皮膚感作性 : 知見なし
 生殖細胞変異原性 : データなし
 発がん性 : データなし
 生殖毒性 : 知見なし
 特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露) : 知見なし
 特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露) : ラットに対して結晶セルロースを 2 g/kg/day で 90 日間反復投与した実験では血液、病理組織像には以上が認められなかった。
 誤えん有害性 : 知見なし

1 2. 環境影響情報

水生環境有害性 短期(急性) : (毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3が0%であり、濃度限界(25%)未満のため、区分に該当しないに該当。

水生環境有害性 長期(慢性) : (毒性乗率×10×区分1)+区分2が59.970%であり、濃度限界(25%)以上のため、区分2に該当。

生態毒性 : 分類できない。
 残留性・分解性 : 分類できない。
 生体蓄積性 : 分類できない。
 土壌中への移動性 : 分類できない。
 オゾン層への有害性 : 分類できない。

<ジノテフラン>

生体毒性
 魚毒性 : コイ LC₅₀(96H) >100mg/L
 ニジマス LC₅₀(96H) >100mg/L
 その他 : オオミジンコ EC₅₀(48H) >1,000mg/L
 藻類 ErC₅₀(0-72H) >100mg/L
 ドブユスリカ LC₅₀(48H) 0.0721mg/L
 残留性・分解性
 生分解性 : 分解度 0% (28 日)
 加水分解性 : 半減期 1 年以上 (25°C, pH4, 7, 9)
 水中光分解性 : 半減期 3.8 時間 (25°C, 400 W/m², 300-800 nm)
 生態蓄積性 : 蓄積性なし
 土壌中の移動性 : K'_f = 0.38~1.12, K'_{oc} = 23.3~33.6
 オゾン層への有害性 : 知見なし

<炭酸水素ナトリウム>

生体毒性
 魚毒性 : ブルーギル LC₅₀(96H) 7,100mg/L
 ニジマス LC₅₀(96H) 7,700mg/L
 その他 : オオミジンコ EC₅₀(21days) 576mg/L

移行性 : データ無し

生分解性 : データ無し

<硫酸ナトリウム>

生態毒性 : LC₅₀ 120mg/L

残留性・分解性 : データ無し

生態蓄積性 : データ無し

土壤中への移動性 : データ無し

<コハク酸>

生態毒性 : 水生環境有害性 短期(急性) ミジンコ EC50 (48H) 374.2 mg/L
水生環境有害性 長期(慢性) 適切なデータがなく、分類できない

残留性・分解性 : COD(Mn) 0.097 g/g BOD 0.726 g/g

生態蓄積性 : 低い (Log Pow = -0.59 から推定)

土壤中への移動性 : データ無し

オゾン層への有害性 : モントリオール議定書の附属書に記載されていない

<結晶セルロース>

生態毒性

水生環境有害性 (急性) : データなし

水生環境有害性 (長期間) : データなし

残留性・分解性 : 良分解性

生態蓄積性 : データなし

土壤中の移動性 : データなし

オゾン層への有害性 : データなし

13. 廃棄上の注意

法、条例等に従って安全に処理する。または産業廃棄物処理業者に委託し適切に処理する。
残薬及び洗浄液は、河川、下水等水系に流さないようにする。

14. 輸送上の注意

容器に異常の無いことを確かめ、転倒、落下しないように積載する。

国連番号 : 3077

品名 (国連輸送名) : ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N. O. S.
(Dinotefuran mixture)

国連分類 : 9

容器等級 : III

海洋汚染物質 : 該当

緊急時応急措置指針番号 : 171

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法 : 該当せず。

化審法 : 該当せず。

労働安全衛生法

表示対象物 (法57条、施行令第18条) : 該当せず。

通知対象物 (法57条の2、施行令第18条の2) : 該当せず。

化学物質排出把握管理促進法 (化管法)

指定化学物質 : 該当せず。

16. その他の情報

引用文献

JIS Z 7252 : 2019、GHS に基づく化学物質等の分類方法

JIS Z 7253 : 2019、GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)

本データシートの記載内容は、この化学品の取扱い時の安全性に関する参考情報であり、安全性や品質の保証をなすものではありません。また危険性、有害性の評価は、必ずしも充分ではありませんので、取扱いには充分注意を払って下さい。